

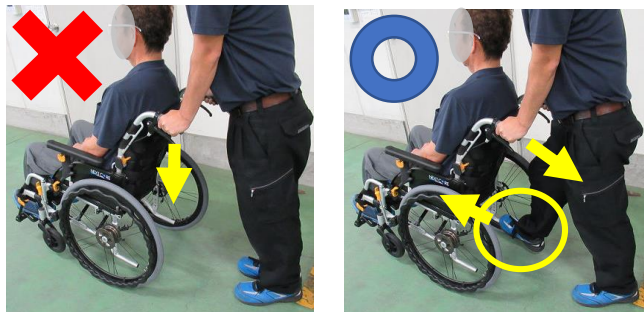
車椅子に負担をかけないご使用方法

平素より当社車椅子をご使用いただき誠にありがとうございます。

通常のご使用をしていただく場合には問題ありませんが、ご使用方法によってはフレームに過度の負担がかかり破損に繋がる可能性があります。その可能性を低くするために、以下の点にご注意いただきご使用いただくことを心よりお願い申し上げます。

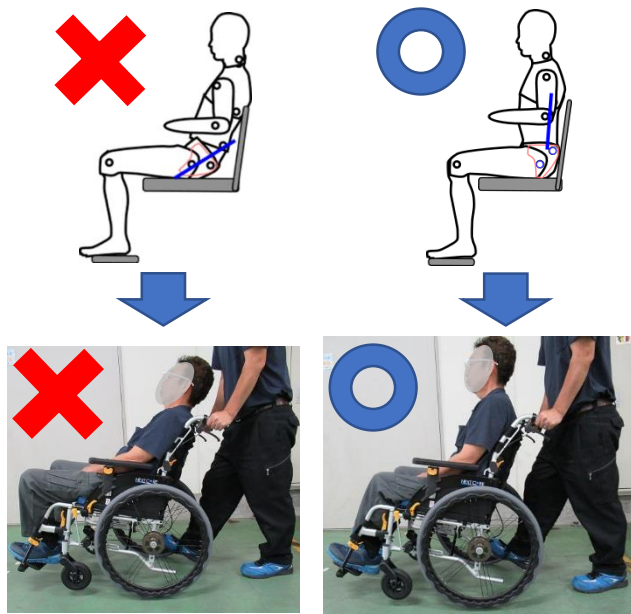
1. 段差乗り越え（キャスト上げ）に関して

1-1 ティッピングレバーを必ずお使いください。



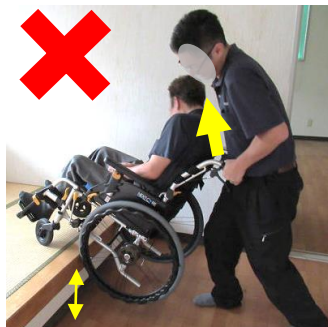
押手だけで前輪キャストを上げようとすると、フレームにかなりの負担がかかってしまいます。使用方法は取扱説明書をご参照ください。

1-2 キャスタ上げの際は座っているご利用者のお尻の位置を奥までしっかり入れてください。



すべり座りの状態では、重心が車椅子の前方になってしまうため、キャストを上げる際にフレームに過度の負担がかかってしまいます。

1-3 高い段差（玄関の上がり框など）はスロープを活用してください。



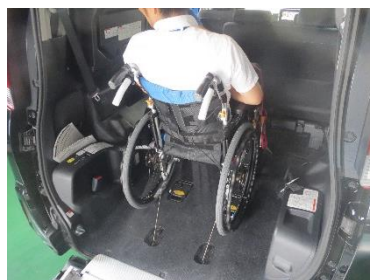
目安として車輪の直径の5分の1以上の高さの段差を乗り越えようとすると後輪を押手を使って持ち上げないといけなくなりフレームに過度の負担がかかってしまいます。

2. 背張り調整ベルトに関して



ベルトを張りすぎないようにしてください。ベルトを張りすぎると背フレームが内側にしなってしまう、その状態で車椅子を操作する（特にキャスト上げ）と必要以上にフレームに負担がかかってしまいます。

3. 自動車への搭載に関して



車椅子に乗ったままでの車載はできる限りお控えください。継続的な自動車の発進、停止、その他の振動により、フレームに負担がかかります。